

令和7年度第2回指定管理者審査委員会 議事録

日 時 令和7年10月7日（火） 午後2時30分～午後4時20分  
 場 所 日進市中央福祉センター2階 研修室  
 出席委員 亀倉正彦、村上康司、平家勉、小金澤衣里（敬称略）  
 欠席委員 黒田忠晃（敬称略）  
 事務局 柏木晶（企画政策課長）、白木誠（同課主幹）、秋山里奈（同課主査）、渡邊凌（同課主事）  
 説明の為に出席した者 大鐘徹也（学び支援課長）、栗崎明子（同課課長補佐）、磯村沙希（同課主任主査）  
 傍聴の可否 不可（日進市情報公開条例第7条第3号に該当する事項を審議するため。）  
 議 題 日進市民会館、日進市ふれあい工房の指定管理者の候補者の審査（第2次審査）について

発 言 者	内 容
事務局	1 開会（午後2時30分） 2 挨拶（企画政策課長による挨拶）
	3 議題 日進市民会館、日進市ふれあい工房の指定管理者の候補者の審査について
日進アシスト株式会社	（事業提案書に基づきプレゼンテーション及び質疑応答）
	（主な質疑応答） 質問：人件費を年2%増とした根拠は何か。2030年に最低賃金が1,500円になると見込まれている中で、その上昇を考慮しているのか。 回答：2%増は指定管理料の上限を踏まえた計画上の設定であり、控えめに見積もっている。本社からの補填も想定しており、将来的な賃金上昇幅が不明であるため、確実に実施可能な範囲として2%に設定した。 質問：臨時職員の確保は難しいと思われるが、どのように人材を確保するのか。 回答：弊社は約300名の従業員を有しており、人材確保はハローワークなどの公的機関に加え、従業員やその家族・知人からの紹介制度を活用している。近年も紹介による採用実績があり、今後は愛知県立芸術大学との連携を通じて音楽関連事業の人材確保を進める方針である。また、市民会館では希望休を100%認め、シフトを柔軟に調整することで働きやすい環境を整えている。その結果、プライベートとの両立を理由とした離職はこの5年間ほとんど発生していない。 質問：令和8年度以降の収支計画について確認したい。事業計画書では令和6年度は営業利益が前年より増加している一方、令和7年度の目標値は大ホール休止や料金改定を踏まえてもかなり保守的な数値となっている。現在の令和7年度の進捗状況や目標達成率はどうなっているのか。また、令和8年度に見込まれている利用料収入2,840万円という数字は現実的な見込みであるか令

発 言 者	内 容
	<p>和7年度の進捗状況と比較して伺いたい。</p> <p>回答：事業計画の数値は会社全体の目標値であり、市民会館単体の実績とは一致しない。また、令和7年度から料金改定により単価が上昇しており、令和8年度は新料金での通年運用を見込んでいる。利用件数は一時的に減少しているが、リニューアルに伴いホームページ等でPRを強化することで利用回復を図り、稼働率50%を実現できれば、提示した収支目標の達成は可能と考えている。</p> <p>質問：利用者目線の意見となるが、給食センターや保育園関連の業務において改善の余地がある事例が見受けられた。事業計画書にはスキルアップ研修などを実施すると記載されているが、どの予算で実施するのか。</p> <p>回答：アレルギー対応など厳格なルールを設け、課題が生じた場合にはその都度是正している。特に保育園関係では幼児のアレルギー対応を重視し、調理研修を定期的実施している。スキルアップ研修については外部研修（三菱UFJリサーチ&amp;コンサルティング等）を活用しており、各施設の費用として按分して計上している。市民会館職員が受講する場合は、市民会館の予算に含めている。</p> <p>質問：電子申請（Web講座申込）で自動返信が届かない不具合について、改善策はあるか。</p> <p>回答：現在は無料のGoogleフォームを使用しており、まれに返信が届かない事例がある。今後は有料クラウド型の統合システム（長久手市文化の家、一宮市民会館等で実績あり）への移行を検討しており、利便性と信頼性の向上を図る。</p> <p>質問：「受託事業費」「受託事業収入」などの関係を整理して説明してほしい。</p> <p>回答：今期は従来の大ホール文化事業が大幅に減少し、収益性の高い公演が限られている。そのため、事業選定を慎重に行い、近隣市町では開催されない文化的で芸術性の高い公演を選定し、完売を目指して収入を確保している。また、「管打楽器ジュニアアカデミー」などの音楽支援事業を展開し、講師を増やして受講者を拡大している。平日開催や市外需要への対応も検討しており、広告費は最小限に抑え、完売による余剰分は他事業や市への返還に充てるなど、収益性と公共性の両立を図っている。</p> <p>質問：副運營業務責任者を重要なポイントと捉えている。これまでの兼任から専任に変更となり、その役割とリスク対策をどのように考えているか。</p> <p>回答：緊急対応やトラブル処理を即時に行える体制を整備する。個人情報管理研修を徹底し、職員の適性に合わせた配置を行う。また、現状でも学び支援課との調整実務を担当し、労務管理・中間管理職研修を受講しており、責任者としての知識と能力の向上に努めている。</p>
4	答申
	(閉会 午後4時20分)